

一般質問

本稿は、質問者が作成しています。
※本人の希望により、掲載しない場合もあります。

12月定例会では21人の議員が一般質問を行いました。

- ・紙面の都合上、質問等の一部を掲載します。
- ・QRコードは各議員の録画映像へのリンクです。
- ・映像機器の不具合のため、12月6日(月)の東淵正人議員から森ひとみ議員までの録画映像は、静止画と音声による配信です。また、同様に3日(金)の渡部晃久議員は、一部静止画と音声による配信です。
- ・会議録は2月下旬にウェブサイトに掲載予定です。

ID 1005109

12月3日(金)

- ・服部 修寛 議員 P.3
- ・八木 丈之 議員 P.3
- ・高橋 一 議員 P.4
- ・渡部 晃久 議員 P.4
- ・小林けいめい 議員 P.4
- ・柴田 雄二 議員 P.4
- ・井上 文男 議員 P.5
- ・平松 邦江 議員 P.5

12月6日(月)

- ・東淵 正人 議員 P.5
- ・則竹 安郎 議員 P.5
- ・島津 秀典 議員 P.6
- ・森 利明 議員 P.6
- ・鶴飼 和司 議員 P.6
- ・大津乃里予 議員 P.6
- ・森 ひとみ 議員 P.7
- ・水谷千恵子 議員 P.7

12月7日(火)

- ・彦坂 和子 議員 P.7
- ・市川 智明 議員 P.7
- ・西脇 保廣 議員 P.8
- ・宇山 祥子 議員 P.8
- ・後藤美由紀 議員 P.8

一宮市民クラブ
服部 修寛 議員



ヤングケアラーの問題点と支援について

Q 愛知県はヤングケアラーの実態把握の為、県独自の調査を実施し、調査結果を踏まえた支援策を来年度にまとめられている。調査によりヤングケアラーの存在が明らかになった場合、喫緊の事態も想定されるので、県の支援策の策定を待つまでもなく市として対応できる措置を講ずるべきではないか。またヤングケアラーの概念や支援対象としての認識を、広く市民にも啓発していく事が重要と考えるがいかがか。

A 関係機関と連携し、早期発見と子どもや家庭に対して適切な支援を行い、啓発活動にも努めていきます。

消防の役割とジェンダー平等について

Q 消防組織においても女性の活躍は必須と考える。ジェンダー平等の観点からの取り組みをお願いしたい。

A 各個人の能力が一層発揮されるよう女性用の更衣室やトイレ、仮眠室の個室化などが未整備の庁舎を改修していきます。

歴史的建造物の保存と活用について

Q 市所有の登録有形文化財の中には、耐震性が確保されていないものがある。貴重な文化財の保護と活用にも努めて欲しい。

A 多くの市民にご利用頂けるように努め、施設の適正管理に配慮していきます。

令和会
八木 丈之 議員



新型コロナウイルス感染症拡大における経済対策について

Q 一宮市独自の経済施策はどのような視点に立って立案されたのか。

A 以下の4つの視点に立脚して立案をしました。一つ目はコロナ禍においても事業者の経営を存続させること。二つ目は営業時間短縮や休業要請など感染防止に協力した事業所を支援すること。三つ目は事業所における新型コロナウイルス感染症拡大の防止対策を強化すること。四つ目は低迷する消費を喚起し、市内経済を滞らせないことです。

Q 一宮市の各種経済対策における効果検証の結果はどうか。

A 一宮商工会議所、尾西・木曽川商工会へアンケート調査を実施いたしました。その結果は、国や愛知県の経済対策を補完する形で実施されており、事業者が経済活動を継続していくために必要な要素を幅広くケアするもので地域経済の下支えとなった。など、概ね良好ということでした。

Q これからの経済施策をどのように考えているのか。

A 市内事業者の実情を把握し、ニーズに見合った施策を考えてまいります。

高橋 新緑風会

一 議員



連区特区について

Q 戦前からの連区の仕組みを見直し、神山連区が新たに取り組んでいる仕組みを参考に、他連区にも導入できないか。

A 新たな地域自治の仕組みとして導入しました「地域づくり協議会」の活動を引き続き支援してまいります。

Q 浅井町内で運行されている買い物支援バス、これを特区として他連区に波及させることはできないか。

A 買い物支援の先進事例として、地域ケア会議等で情報を共有しております。

Q 高齢化率の最も高い朝日連区を、健康長寿特区として施策を実施できないか。

A 高齢者福祉施策は、特定の地域に限定して行うのではなく、全市的に行ってまいりたいと考えています。

Q 数年すれば空き家になるということがわかっているのなら、特区を設けて「空き家予備軍」のうちに対策を講じることはできないか。

A 空き家となることが予想される高齢者世帯は市内にまんべんなく存在していることから、全域で取り組んでまいります。

Q 耕作放棄地も同様、特区を設けて防止に努めることはできないか。

A 農業従事者の減少が背景にありますので、人材育成を図ってまいります。

渡部 令和会

晃久 議員



広報について

Q 「尾州ブランド」を例に質問する。ブランドの周知浸透に向け、関係者向け展示会や百貨店での企画即売会等の方策は、一定の効果が上がっているとのことだが、一般市民等への周知を図るべく、メディアへの広告等への注力と、この宣伝広告費の助成等を行うべく、関係団体と調整を図るべきと考えるがいかがか。

A コロナ禍における新しい生活様式対応事業所設備等整備補助金において広告費への補助も行っています。これらの結果も検証し、広告の方法や媒体を見極め、次につなげていきたいと思っております。

市役所本庁舎駐車場について

Q 東京2020大会では、混雑する日中の首都高速通行料金を引き上げ、夜間を半額とする交通需要マネジメント施策があった。市役所に用事のある方が優先的に駐車できるように、混雑時間帯、無料とならない駐車料金を調整してはどうか。

A 市役所周辺への買い物客や、近隣の駐車場価格への影響等も考慮が必要と思われれます。利用者の利便性向上が重要であり、今後もスマートな運用を研究していきます。

その他の質問項目

・避難訓練ウィーク

小林 新緑風会

けいめい 議員



一宮市における自死の現状について

Q 厚生労働省は、令和2年の自死の人数を2万1千81人と発表したが、一宮市ではどうだったか。併せてその世代や性別について教えて欲しい。

A 死因が自殺の方は58人で、年代別では70歳代が最も多い14人、20歳未満が3人で、他の年代はそれぞれ6~7人でした。また、男女別では男性41人、女性17人でした。

Q 自死の要因としてはどのようなものがあるか。

A ここ3年間では健康問題が最も多く、次いで経済生活、勤務問題、家庭問題の順で、学校問題や男女問題などもあります。

Q 一宮市における相談窓口の状況はどうか。

A 自殺に特化した相談窓口はありませんが、健康相談は各保健センターで、障害者相談や生活困窮者に対する支援であれば、福祉総合相談室で行うなど、内容に応じて市役所の各相談窓口で対応しています。

Q どのような啓発を行っているか。

A 市のウェブサイトのほか、自殺予防の啓発パンフレット等を窓口で配布しています。また、毎年、ゲートキーパー養成研修会を開催し、周囲の方々で見守りができるような環境づくりに努めています。

柴田 公明党宮市議団

雄一 議員



公的緑地面積の拡大について

Q 本市は県内同類市と比べて公園緑地が約半分しかない中で、河川敷の活用や外崎土地区画整理事業等で公園整備を進めていっても、国の目標達成はかなり難しい状況とのことである。せめて低緑被率の連区において、小学校の校庭を開放し、公園のように気軽に遊べるようにできないか。

A 学校の運動場については、昼間は、平日は午後5時から日没まで、土曜日・日曜日・祝日・長期休業中は日の出から日没まで貸し出しをしています。一般の方は、学校へ申請することで運動場を利用することができます。

公共施設等総合管理計画の今後について

Q 「施設のあり方計画」が策定された今後は、神奈川県秦野市のように階層別職員研修による危機感共有や施設の維持コストの調達機能を備えた具体的なマネジメント計画の策定をされたい。市の所見を伺う。

A 「施設のあり方計画」は、まだ、策定されたばかりで、今後各部、各課で計画の進捗が図られるところです。今後の計画の進め方につきましては、各部、各課の考え方をまずは尊重しながら、頂いたご要望等も参考に研究してまいります。

令和会
井上 文男
議員



2050年ゼロカーボンシティ宣言について

Q ゼロカーボンシティとはどのような宣言か。

A 2050年に二酸化炭素排出量を実質ゼロにすることを旨とする。首長もしくは地方公共団体から宣言するものです。

Q 一宮市の現状の考え方を教えてください。

A 脱炭素化を促進するひとつの方策であると認識しています。しかし、宣言するだけで脱炭素化に向けた取り組み、施策が決まっていないという状況では、温室効果ガス排出量の削減は進まないと考えており、現時点では宣言しておりません。

Q 一宮市は、なぜ宣言しないのか。

A 脱炭素化に向けた取り組みや施策が決まっていない状況で宣言だけを行うことは、企業や産業活動の制約となる恐れもあると考えています。あくまでも、表明自体が目的ではありません。表明するからには、全市的に取組む政策や施策を伴わなければなりません。しかし、宣言することが市民の意識を変える効果もあると考えますので、今後、地域新電力会社設立と同時に宣言を行うことで、期待の持てる効果があるかどうかなど検討していきます。

公明党一宮市議団
平松 邦江
議員



女性の命と健康を守る取組について

Q 国は子宮頸がんワクチンの積極的勧奨を再開した。全対象者に勧奨してもらいたい。市はどのように推進していくのか。

A 国通知を受け中学1年生の未接種の女子に個別勧奨し、高校1年生相当の女子にも新たに個別勧奨するよう検討します。

Q 女性のがん検診啓発の取組を問う。

A 乳幼児健診の案内に併せて子宮頸がん検診を勧めてきましたが、いずれのがん検診もその必要性を市民に知っていただく、効果的な啓発について研究していきます。

Q コロナ禍での感染症対策を問う。

A 保育園においても小中学校においても、手洗い、三密の回避、換気など感染対策を徹底してきました。

Q 手洗いにおいては効果のある液体石鹸や自動水栓の蛇口に置き換えてほしい。またトイレも床を乾式に、便器を洋式に、計画を立てて進めてほしい。

A 小学校7校の手洗い場の水栓ハンドルは、寄付により一部レバー式に交換しています。今後効果があればレバー式への取替を検討します。また、トイレの洋式化については、校舎内は50%を達成しましたので、今後は屋内運動場を優先に進めます。

子どもたちの衛生環境について考える

令和会
東淵 正人
議員



無戸籍者の対応について

Q 市内で普通に生活している方の中に戸籍が無い「無戸籍」の方がいる。無戸籍になる理由と市内の無戸籍者の人数は。

A 子どもの出生時に出生届が提出されると、親の戸籍に記載されます。ところが、婚姻している男性の子どもではないなどの理由で、母親が出生届を出さない場合があります。その場合には戸籍に載らないため、無戸籍になります。市が現在把握している無戸籍者は3人です。

Q 無戸籍になってしまった人は、どうしたら戸籍に載ることができるのか。

A 家庭裁判所での手続きを行い戸籍に

記載する事項を証する書類の交付を受け、その後、戸籍の届出の際にその書類を添付していただくことで戸籍に記載されます。

Q 無戸籍者から戸籍の相談を受けた時は、市はどのように対応するのか。無戸籍者は市民サービスを受けられるのか。

A 無戸籍になった事情をお聞きし、法務局と連携して戸籍を取得するために必要な手続きを支援します。無戸籍の方でも、保育園・小中学校に通うことや児童手当を受給することができます。国民健康保険に加入したり生活保護を受けたりすることもできます。亡くなった場合の火葬もできます。

令和会
則竹 安郎
議員



救急搬送について

Q 新型コロナウイルス感染症の影響で、救急車の搬送時間が長くなっていないか。

A 救急車が出動して病院に到着するまでの平均時間は、新型コロナウイルス感染症拡大前とほぼ変わりません。

Q 救急車の適正利用や高齢化などの対応として国がすすめている救急安心センター事業「#7119」とは。また進捗状況は。

A 住民が電話で「#7119」をダイヤルすると医師、看護師などが、救急車が必要かなど医療相談を行う事業です。愛知県では未導入ですが、平成29年度検討会が設置され前向きに検討しているところです。

富田山公園再整備について

Q スケートパークの整備に向けた、進捗状況を教えてください。

A 民間主催の体験イベントが計画されていたが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった。実体験を通じて、引き続き、設置に向けた課題等の検討を行っていきます。

Q 尾西グリーンプラザの宿泊棟があった場所に現在白い鋼板があり、イメージが良くない。森林環境譲与税を財源に、ウッドデッキやテーブルなどを整備してほしい。

A 転落防止と見晴台を兼ねた施設を検討していきます。森林環境譲与税の活用については関係部局と調整を行っていきます。

令和会
島津 秀典 議員



木曾川左岸に連なる緑地について

Q 木曾川沿いには公園が点在しているが、木曾川沿川緑地の区域とはどこか。

A 浅井町黒岩から奥町地内に至る遊歩道・サイクリングロード等で、既存の都市公園や未整備区域で分断された区域です。

Q 木曾川緑地公園（玉ノ井地区）には、ベンチや幼児の遊具近くに灰皿スタンドが設置されているが、撤去等の考えはないか。

A 園内の灰皿については、多様な人が利用するベンチや幼児の遊具付近の灰皿スタンドから、順次撤去する方向で考えております。



Q 木曾川緑地公園（里小牧地区）の公園入口には、バーベキューなど火気使用とキャンプ禁止と記されているが、遵守しない利用者もいる。統一のルールを決め、分かりやすい周知サインを設置できないか。

A 現在、利用者に対して、より分かりやすい看板の設置を予定しております。

Q 北方広場付近に宝江川港があった場所があり、木曾川堤駅に近くミズベリング138「水辺で乾杯」の舞台として利用されている。水洗トイレを整備してもらいたいが、まずは仮設トイレの設置をお願いしたい。

A ご提案の仮設トイレについては、設置に向け河川管理者と協議してまいります。

令和会
森 利明 議員



衆議院議員総選挙について

Q 令和3年10月19日公示の衆議院議員選挙から名岐バイパス東に西成公民館期日前投票所が初めて開設されたが、西成公民館を含め、すべての期日前投票所の利用人数を教えてください。

A 西成公民館は約4,700人、市役所本庁舎は約10,700人、尾西生涯学習センターは約11,600人、尾張一宮駅前ビルは約8,400人、木曾川体育館は約11,000人、全期日前投票所で46,000人余の利用がありました。

Q 衆議院比例代表東海ブロックは21人が当選者となる。どのように当選者を決めるのか。

A 比例東海ブロックの議席はドント方式と呼ばれる方式で議席を配分します。このドント方式とは、比例代表の各政党の総得票数をそれぞれ1、2、3、4・・・と自然数で割っていき、得られた得票数の大きい順に議席を配分する方式です。

Q その方法だと、最後の議席については、れいわ新選組に議席が配分されるはずだが、公明党に配分されたのはなぜか。

A れいわ新選組の得票数については、比例代表に重複立候補した候補者2名について、小選挙区での得票数が法定得票数以下のため失格となり、結果的に次点の公明党に議席が配分されました。

自由民主党一真会
鵜飼 和司 議員



よりスマートに、よりフレキシブルに、よりシンプルに。一宮市のこれからのインフラ整備について

Q 宮地・花池・妙興寺の3町内が交わる宮地2丁目東交差点から、南進する水路の暗渠化について、計画を伺う。

A 2015年より議員から要望・提案をいただいております。工事完成後は、幅員7mの道路となります。安全対策としましては、交通量の増加も想定されるため、ガードパイプを設置することにより、歩車道を分離し、歩行者の安全を確保していきます。

Q 2020年度の道路工事件数は、建設部と上下水道部を合わせて1,759件。現在、

工事箇所などは、統合型GISを活用して情報共有されているとのこと。今後は、「自治体DX」を推進し、デジタル技術を活用することにより、もっと効率的に計画を進めることができると考える。そこで、今後計画していることについて伺う。

A 2021年度、全部長を含めたメンバーで構成するデジタル推進本部を設置しました。さらに、各部門の職員で構成するワーキンググループを設置し、年度内には行政手続きのオンライン化に向けた検討グループを設置する予定です。地理情報システムについても、2022年度には関連業務の効率化に向けて、具体的な検討に入る予定です。

自由民主党一真会
大津 乃里予 議員



地盤沈下、液状化対策

Q 一宮市の水道水源は地下水の割合が最も多いが、地下水を過剰に汲み上げることで地下水位が低下し、地盤沈下が引き起こされる。汲み上げの対策を問う。

A 地下水揚水規制範囲内で汲み上げており、過剰な汲み上げは行っておりません。

Q 液状化は地下水位が浅い所や埋立地等で起きやすい。木曾の上流から流れてくる土砂が堆積し、木曾川の氾濫が造ったのが濃尾平野で、液状化が起きやすい土地だと推測する。大規模地震に備え対策を問う。

A 主要な水道水源及び配水管は、液状化対策を含め、耐震化を進めております。

水質汚濁、生活排水処理

Q 単独処理浄化槽やくみ取り便槽を利用されている人口、即ち、トイレ以外の台所・風呂・洗濯から出される生活雑排水が未処理となっている人口の割合は。

A 令和2年度末で市全体の29%です。

Q 生活雑排水が処理されずそのまま流れ出ることが水質汚濁の大きな要因だが、これを改善するための策の1つが、合併処理浄化槽補助金制度である。現在は既存の住宅のみ対象であり、水質汚濁防止の観点から補助枠拡充をすべきと考えるが。

A ご自分の意思で商売をしている事業者への補助拡充は、現在考えておりません。

森 ひとみ
自由民主党一宮市議員



高齢者とペットを救うためのこれからの取組

Q 高齢者の方がペットを飼おうとした場合、注意しなければならない点は何か。

A ペットの命を見送るまで愛情と責任を持って飼育し続けることができるか、しっかり考えることが大切です。

Q 高齢者から犬の引き取りの相談があった時どのように答えるか。

A 飼い主の責任で新しい飼い主を探していただくよう答えています。

Q 社会問題となっている高齢者とペットの問題について、関係部署との連携ができないか。

A 愛護動物に関する相談については、

引き続き関係部署と情報を共有していきたいと考えています。

エンディングノートの活用

Q 令和3年度作成したエンディングノートの使い方についてアドバイスはあるか。

A 自分の過去・現在・未来を捉え直しこれからどう生きるかを考え、また定期的に見直すことも推奨します。

Q 今後多くの市民の方に、また有効に利用いただく為、民生児童委員等に研修会等を行うことはどうか。

A 前向きに検討します。

水谷 千恵子
公明党一宮市議員



保育環境の充実について

Q 身近な保育園で妊婦や保護者が気軽に相談できたり、支援を受けられたりする「マイ保育園」といった事業を行っている自治体があるが、一宮市でも同様の事業を行っているのか。

A 「マイ保育園事業」として実施してはいませんが、市内の保育園で未就園児の保護者を対象に保育士が育児に関する相談や子育てに関する情報提供を随時行うとともに、親子の遊び場、交流の場として定期的に園庭を開放しています。

Q 近年の医療技術の進歩に伴い、医療的ケア児は、2019年の推計で約2万人、過

去10年で倍増している。一宮市での医療的ケア児の保育について問う。

A 令和2年度から一宮市立大和北保育園で医療的ケア児保育モデル事業を開始し、令和2年度では、1名を受け入れ、令和3年度では計2名を保育しています。

Q 一宮市の今後の方向性について問う。

A 現時点では、預かる子どもを大幅に増やすことは難しいと考えますが、今後の事業展開に向けて大和北保育園の保育に努める中でしっかりと検証していきます。

その他の質問項目

・女性の活躍を推進するために

彦坂 和子
日本共産党一宮市議員



保健所業務と新型コロナ対策

Q 保健所は新型コロナ対策だけでなく、地域住民の健康の保持・増進を図る事業を行い、重要な役割を果たしている。保健師の正規職員を増やして体制強化してほしいと思うが、いかがか。

A 市内の全保健師が協力体制を組み、効率的に専門性を生かして業務を進められるように、連携体制を構築していきます。保健師に限らず全職種で業務量等を勘案し、引き続き適正配置に努めていきます。

高齢期も元気で暮らせる一宮に

Q 高齢者の福祉タクシー料金助成の対

象は、現在90歳以上となっているが、対象年齢を85歳に引き下げしてほしい。

A 対象年齢の引き下げについては、高齢者福祉全体の見直しの中で、総合的に判断していきます。

子どもたちに安心安全な学校給食を

Q 一宮市学校給食審議会の委員は現在13人だが、一般公募委員を増やして欲しい。議論が更に深まり充実すると考える。

A 有識者の他、児童生徒から感想を聞くことができるPTA役員、学校長、食育・給食主任等、学校給食に関わりの深い方で構成する考えです。

市川 智明
公明党一宮市議員



子どもの予防接種について

Q おたふくかぜは、子どもの軽い病気と思われがちだが、様々な合併症を併発し後遺症を残すこともある。たとえば、1000人に1人の割合でおこる難聴は一生治らない。すでに県内の他中核市では、補助を実施している。一宮市でも中核市になったことに伴い、補助を実施できないか。

A 任意接種への助成は、市がその接種を積極的に勧奨することになるため、十分な検討が必要です。法に基づき接種すべき定期接種となるか国の動向を注視していく必要がありますが、現時点ではおたふくかぜ予防接種の助成は検討しておりません。

投票率向上の取組について

Q 令和3年10月31日執行の衆議院議員総選挙で、『高齢者や障害をもった方も非常にアクセスしやすかった旧大和生涯学習センター期日前投票所はなぜなくなったのか』との声が多くあった。施設の用途廃止に伴い廃止されたと聞いているが、これに代わる期日前投票所は検討されなかったのか。

A 期日前投票所の設置については、市全体のバランスを見て検討し、衆院選では、尾西生涯学習センターを愛知県第10区に対応できるようにし、市東部に西成公民館期日前投票所を新設したところでした。



濃尾大花火について

Q 濃尾大花火は、ここ3年中止となっている。市民の皆さんは、大変楽しみにしている濃尾大花火がこの先どうなるのか大変気にかけている。新型コロナウイルスの感染状況にもよるが、次年度以降の開催について教えて欲しい。

A 濃尾大花火は一宮市の夏を代表するイベントで、多くの市民の皆さんに楽しんでいただいております。新型コロナウイルス感染症の状況やそれに係る国の指針などを踏まえながら、羽島市や実施主体である尾西商工会と相談してまいります。

青色パトロールについて

Q 地域の防犯、安全で住みやすいまちづくりのため、様々な工夫やアイデアによって活動資金を確保し、今後もパトロール活動を継続していただきたいと思うが、青色防犯パトロール隊の活動を継続し、また、活性化させるため、市では現在どのような支援を行っているのか。

A 市の支援としましては、防犯パトロール車に取り付ける青色回転灯やドライブレコーダ等の装備や資器材の貸与のほか、防犯パトロール車としてご活用いただくため、廃車する予定の公用車の無償譲渡も行っております。



AYA世代（15歳から39歳）のがん患者支援について

Q 一般的に貯蓄は少なく、医療保険、がん保険の未加入者も少なくない中、がん罹患すると、経済的に困窮するリスクが高くなる。療養上の課題では、この世代は介護保険制度を利用できないため「制度のはざま世代」と呼ばれている。がんになっても住み慣れた環境で家族と安心して暮らせる一宮市を目指し、最期を自宅で過ごしたいという希望に寄り添った制度の創設をすべきだと考えるがいかがか。

A 介護保険が適用されないAYA世代の患者に対し、在宅サービスや福祉用具の貸

与・購入に関する助成の必要性は認識していますが、令和3年度、愛知県内において在宅療養費の助成制度である在宅ターミナル支援事業を行っているのは、名古屋市と清須市のみの状況です。現段階においては、国や県の動向をみながら、他市町の状況を注視していきたいと考えます。

人に優しい本庁舎自走式立体駐車場へ

Q 本庁舎立体駐車場各階エレベーター付近に「思いやり駐車スペース」を確保できないか。

A 今後検討してまいります。



園児送迎時の駐車場の警備と昼休憩や事務処理時間を軽減する為の保育士配置について

Q 保育士負担軽減の為にも園児の登降園の際に専属の警備員を配置できないか。

A 警備員の配置については、どこまで有効か見極めが難しいため、今後も継続して送迎用駐車場の確保に努めます。

Q 園児数の多い園からでも年少クラスに副担任制度を取り入れることができないか。

A 副担任ではありませんが、職員体制の充実のために担任担当を持たないフリーの保育士の確保に努めます。

いずみ学園など児童発達支援センターの今後のあり方と保育課とのかかわり方

Q 園内研修の他に定期的に外部講師に来ていただけないか。

A 保育士の専門性向上のため、有効な方法を総合的に考えていきたいと思います。

Q 療育の勉強や研修に実費で行く熱心な保育士に対し補助することができないか。

A スキルアップのため、意欲的な態度は支援していきたいと思います。

Q 縦割りをなくし、いずみ学園にも保育課の指導保育士の訪問ができないか。

A 所属が異なるため難しいが、風通しのよい職場環境作りに努めます。

次回3月定例会の日程

日程は変更になることがあります。 ID 1005106

本会議	
2月28日(月)	開会・議案上程
3月 4日(金)	会派代表質問
3月 7日(月)	一般質問
3月 8日(火)	一般質問
3月23日(水)	討論・採決・閉会

- 開議時刻 ……午前9時30分
- 傍聴場所 ……本庁舎14階 議場傍聴席

常任委員会	
3月10日(木)	総務委員会
3月11日(金)	福祉健康委員会
3月14日(月)	経済教育委員会
3月15日(火)	建設水道委員会

- 開議時刻 ……午前9時30分
- 傍聴受付場所 ……本庁舎12階 議会事務局
- 傍聴受付開始時刻 ……午前9時(定員10名)